

北海道札幌市における喫煙環境の動向

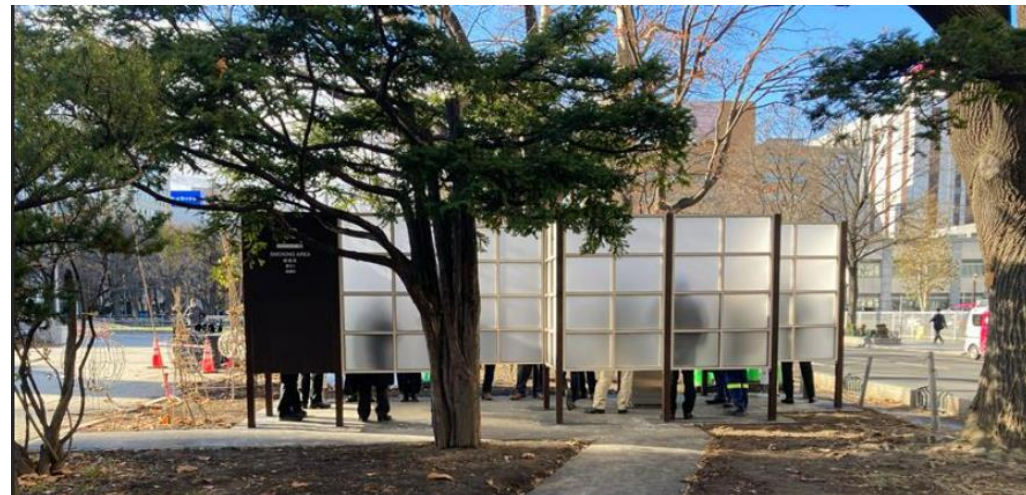
◆ 誰しものが心地よく過ごせる環境を目指して、多くの方々が利用される公園にて実証実験を開始

【札幌市大通公園】

- 過去、路上喫煙者が多数存在
- 景観美化のためにパーティション型の喫煙所を設置
- 実証実験中であるが、安心安全に喫煙所を利用されている状況



撮影：JT藤原 2022.09.01 大通公園5丁目



2023.12.06 左同場所にて撮影
いつもいたエリアに路上喫煙者はいなかった

札幌大通公園における実証実験 中間報告

- ◆ 23年12月より実証実験として利用開始となった、大通公園西5丁目の屋外喫煙所について、7月11日に中間報告が公表
- ◆ 公園利用者のうち90%が「吸う人・吸わない人を住み分ける取組」に対して「良い・やや良い」と評価

2024年7月12日（金曜日） 北海道新聞 朝刊 本紙 全道面 社会 28ページ

札幌市は11日、中央区の大通公園に喫煙所を設け、受動喫煙対策や路上喫煙が減るかを検証する実証実験の中間報告を発表した。公園と喫煙所それぞれの利用者調査で、いずれも9割以上の人が喫煙者と非喫煙者をすみ分ける取り組みを評価し、「公園で過ごしやすくなった」と回答した。同日、市内で開かれた「大通公園・中島公園あり方検討会」で明らかにした。市は昨年12月から、同公園の西5丁目に密閉されていない喫煙所を設置している。

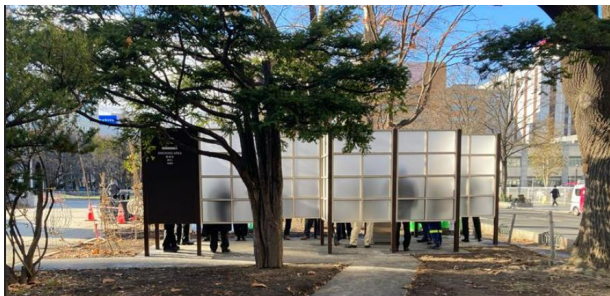
調査は5月の5日間、公園と喫煙所それぞれの利用者計845人に実施。喫煙所を設置して「吸う人・吸わない人のすみ分け」の是非について、「良い」「やや良い」と答えたのは公園利用者で99・5%、喫煙所利用者で97%に上った。

大通公園すみ分け実験中間報告 喫煙所9割評価

喫煙所設置前より「公園で過ごしやすくなった」としたのは公園利用者で90%、喫煙所利用者で97%。このうち公園利用者で「喫煙者を気にしなくなった」、喫煙所利用者で「非喫煙者を気に

せず吸える」が最多だった。一方、公園利用者から「喫煙所の臭いや煙を感じる」の声も上がった。5月の2日間、同公園の西5丁目での喫煙者は計18人と、喫煙所の設置前の昨年11月の2日間より34人減った。市は「喫煙者が喫煙所に移ったため」と分析した。市は来年3月まで効果を検証し、常設するか判断する。（麻植文佳）

7.12 北海道新聞 社会面



(2) アンケート調査結果

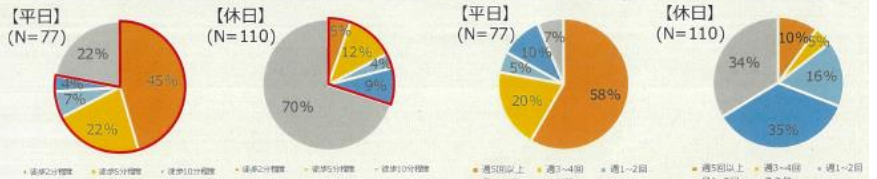
5日間で合計845件の回答が得られた（公園利用者 658件／喫煙所利用者 187件）。

1) 回答者の属性

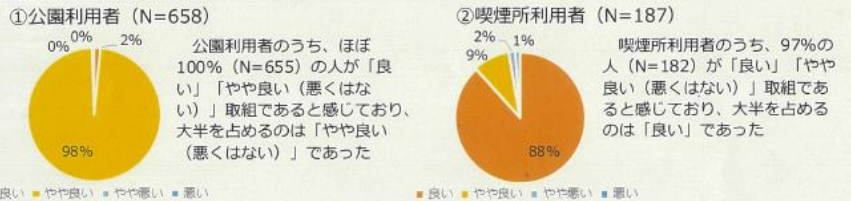
- ①公園利用者 ✓ 男女比は1：1（N=294、321）
✓ 20代～70代が概ね満遍なく回答
✓ 8割以上は非喫煙者（N=560）
- ②喫煙所利用者 ✓ 男女比は3：1（N=125、48）
✓ 回答者の7割近くが30～50代

2) 喫煙所利用者の傾向

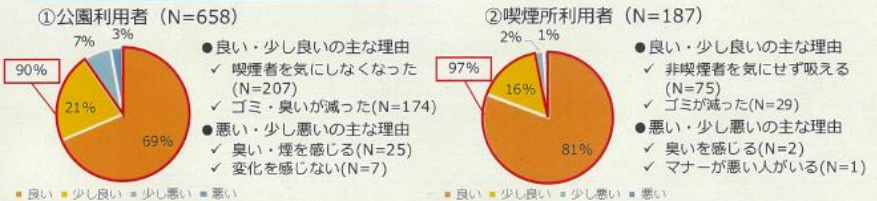
- ①公園周辺の活動拠点（職場・住居）の有無
平日は78%、休日は30%が活動拠点ありと回答
- ②喫煙所の利用頻度
平日は83%、休日は31%が週1回以上利用



3) 吸う人・吸わない人を住み分ける取組に対する是非



4) 喫煙所設置による公園の過ごしやすさの変化



7.11 ありがた検討会資料